添付資料1. 事業内容、事業の成果に関する写真

【写真①】ムウェンベシ・クリニックARTセンターの待合室に供与したTVモニターとDVDプレイヤー。健康教育番組や治療教育用DVDを利用し、待合室の患者に啓発を行っている（2015年6月9日　ムウェンベシ）

【写真②】ムウェンベシ・クリニックARTセンターにて、患者情報をノートに記入する服薬支援ボランティア（2015年2月26日　ムウェンベシ）

【写真③】服薬支援ボランティアを対象とした介助研修。写真は寝たきり状態の患者に対する食事の介助の方法を実践している様子。左が講師、右の3名が服薬支援ボランティア。（2015年4月17日　カフエ）

【写真④】国家VCTデー（自発的HIV検査とカウンセリング［VCT：Voluntary Counselling and Testing］を全国的に呼びかける国の記念日）のイベントでエイズに関する啓発を行う服薬支援ボランティア。（2015年7月1日　マウントマクル）

【写真⑤】ART 患者およびその親近者向けワークショップで、服薬治療を阻害する要因について学んだことを発表する参加者（右）。左は当会職員グリフィン・チカイレ（2015 年 2 月 17 日　ムウェンベシ）

【写真⑥】ART 患者およびその親近者向けのワークショップの様子。ここでは服薬支援ボランティアが講師として参加し、コンドームの使い方について説明を行っている（2015 年 6 月 18 日　マウントマクル）

【写真⑦】学校エイズ対策クラブ向け啓発劇能力強化ワークショップにて、学習内容を反映した、啓発劇を披露しているクラブメンバーたち（2015年6月7日　ルサカ）

【写真⑧】国家VCTデーに先立ち、ムウェンベシ中高等学校のエイズ対策クラブメンバー（右奥）とウェストウッド小学校のメンバー（右手前）が行った家庭訪問による啓発活動の様子。地域住民に対してVCTを促した。右中央が当会現地職員シャロン・バンダ（2015年6月21日　ムウェンベシ）